

T1に大敗... 課題が多く残り力及ばず...

圧倒された80分間

5月12日に総体都大会1回戦 vs実践学園が実践学園で行われました。支部大会を勝ち抜き、3年連続で都大会進出の**高島**は2次T進出を目指します。初戦の相手は、T1所属の**実践**。言わずと知れた強豪です。

試合は、開始から**実践**が圧倒します。

「強い・速い・高い」

前線からのアプローチ、サイドアタッカーのスピード、DFのヘディングの高さ。全てにおいて相手が上手でした。前半で**0-5**、後半**0-3**、計**0-8**。

完敗でした。これが、全てをかけてサッカーに取り組んでいるチームとの差です。

「サッカーにかける覚悟」

がまるで違う。相手がどこであろうと必死にボールを追う姿に私は感銘を受けました。

総体を終えて

3年連続で出場した都大会はあっけなく終わりました。昨年は、T1相手に2-3。健闘したと思います。今年は、**0-8**の**完敗**。手も足も出なかったと言っても過言ではありません。終始、自信のないプレー、表情。流れを変えられない集団の力。死ぬ気で闘うという気持ち。改めて力の無さを実感しました。

3年生は残りは選手権しかありません。3か月後に予選が始まりますが、そこまでに何ができるか。東京のトップチームとやって何を感じたか。実践の選手は、**人となり**も素晴らしかった。運営・案内等全てが完璧だった。練習に一生懸命取り組む前に「**人となり**」を改善する必要がある。**人間性**がその選手を伸ばします。この大敗から学んだことをもとに選手の奮起に期待します。

たくさんの応援ありがとうございました！

高校サッカードットコム様に記事にいただいています。

<https://koko-soccer.com/report/1479/1029-201905121>



写真館

